

まちのわだい

クリスマスコンサート

総合クラブひろかわ



GrandBird（グランバード）の歌や演奏に耳を傾ける参加者

12月10日(土)、「総合クラブひろかわ」がはなやぎの里でクリスマスコンサートを行いました。当日の参加者は100人以上。「恋のバカンス」や「亜麻色の髪の乙女」などの歌謡曲、ベンチャーズなど懐かしい音楽の演奏に、口ずさんだり踊ったりと会場は熱気に包まれていました。参加者からは「コロナ禍で外出を控えていたが、久しぶりにGrandBirdの演奏で楽しい気持ちになった。また参加したい」といった声がありました。

協力して「つながる装置」づくり

広川町あしてらCAMP



1月5日(休)、川瀬公民館で広川町あしてらCAMPのメンバーと町内の子もたちが、つながる装置を作りました。あしてらCAMPは、全国から集まった社会人や学生と一緒に、勉強や将来についての学び場を提供する取り組みです。当日は公民館内にある物を使い、4つのグループに分かれて装置を作り、最後は全部をつなげて完成しました。参加者からは「みんなで協力して作って楽しかった」といった声がありました。

全国障害者スポーツ大会で金メダル

原嶋陽平さん



10月29日(土)～31日(月)、宇都宮市で開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」で、原嶋陽平さん(一条区)が陸上50メートル走で6秒93の大会新記録を出し、金メダルを獲得しました。原嶋さんは、学生時代から毎日トレーニングを欠かさないほど陸上が好きとのこと。大会当日は、リラックスして臨むことができ、それが新記録につながったのではないかと話していました。

青少年育成のため寄付

江口自動車工業(株)



12月1日(休)、江口自動車工業(株)が広川町教育委員会へ寄付をしました。寄付金は「広川町の青少年育成に活用してほしい」という希望から、広川町立図書館や町内小中学校の図書購入に活用され、子どもたちの読書推進に役立てられます。

町立図書館では、寄付金で購入した本に「江口文庫」のシールを貼り、図書館入り口の新刊コーナーに置く予定です。

輝く未来へ一歩踏み出す

広川町二十歳の祭典



1月8日(日)、下広川小学校体育館で「二十歳の祭典」が行われました。対象者は、平成14～15年生まれの206人(男性112人・女性94人)。実行委員のメンバーは、企画・運営も担当し、思い出に残る式典になるように話し合いを続けてきました。当日は小・中学時代の恩師や友人との久しぶりの再会に、思い出話をしたり、記念撮影をしたりと、終始笑顔の絶えない時間を過ごしていました。

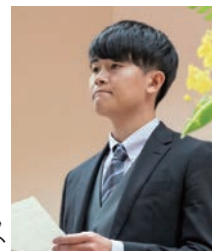




中村雄平
(吉常区)

先月のワールドカップで、サッカー日本代表は悲願のベスト8 進出はできませんでしたが、最後まで勝利を諦めずにプレーする姿を見て感動しました。日本代表の中には、同年代の選手が多く活躍しており、失敗を恐れずに挑戦し、努力を続けることで活躍の道が開けることを知りました。何ごとにもめげずにがんばりたいと思います。

私たちがこうして再会を喜べるのは両親や先生、そして地域の人たちの支えがあったからだと思っています。二十歳のみなさん、次は私たちの番です。これから先、数えきれないほどの失敗や不安に突き当たるとは思いますが、周りの人たちへの感謝を忘れず、大人の一員として、自分らしく一歩ずつ前に進んでいきましょう。



俵山晴睦
(北新代区)

**二十歳の主張
(要約)**



宮瀬莉央
(久泉区)

私は、今までご指導を受けてきた先生たちのような教師になりたいと思い、小学校の教師を目指し大学で勉強しています。将来は、未来のある子どもたちと一緒に学び、社会に貢献していきたいです。大変なこともたくさんあると思いますが、夢を諦めず実現に向けてがんばりたいと思います。

私は、人の痛みや不安を理解できるようになるため、話し合いの機会を大切にしています。日ごろからたくさんの知恵を身に付け、挑戦し続け、将来は誰からも頼られる、強くて優しい大人になることが私の夢です。その夢に向かい、一人の社会人として自覚と責任を持ち、今後も精進していきます。



松崎勇人
(藤田区)